

分科会 12

どんな人がピアスタッフに向いているのか？

磯田重行（日本ピアスタッフ協会）

佐々木理恵（NPO 法人ゆるりリカバリーカレッジたちかわ）

竹内政治（さいたま市精神障がい者当事者会ウィーズ）

相川章子（聖学院大学）

リカバリーフォーラム 2018 は皆さんお疲れ様でした。

分科会 12 の「どんな人がピアスタッフに向いているのか？」は二日目の午後に行われました。

企画段階から手が回らずどうなることかと心配していましたが、ふたを開けてみれば参加者 110 人強と大盛況な分科会でした。会場も熱気むんむんしていて汗をかきました。

さて、この分科会はピアスタッフに適正はあるのか？ 向き不向きはあるのか？ と、座長の竹内の疑問からはじまっています。

竹内は前の職場で同僚とのデスクコミュニケーションがきっかけでひどい辞め方をしました。それからずっと自分にはピアスタッフは向いていないと思い込んでいました。

しかし、客観的に見て利用者さんとの関係は良好だったし楽しかったので、向き不向きの問題ではないと今では思います。そのようなことを最初の趣旨説明のとき述べました。同じく座長の相川先生が補足をしてくれました。

まず、ゲストスピーカーの磯田氏と佐々木さんの話からはじめました。

磯田氏はピアスタッフ経験が長く、同時にいろんなピアスタッフを見て来たそうです。何人ものピアスタッフがいて、最後まで残る人材はなにかしらの役割を持っていたそうです。仕事での役割は大事だと思いました。

佐々木さんも経験による話を聴かせてくれました。質問もたくさん出ましたがお二人とも真摯に答えていました。

休憩を 15 分取りました。その間、皆さん名刺交換に忙しかったようです。

休憩が終わり長めのグループワークをしました。

模造紙にポストイットは日本に定着したようです。すごい熱気の中（クーラーが稼働していなかった…）皆、熱心にトークをしていました。大人数の中 声が反響することもなく時間は過ぎていきました。

グループワークが終わり時間の許す限り全体で各グループの発表をして、どんなことが話し合われたのかを共有しました。あるグループがピアスタッフに向いているのは包容力がある人と言っていたのが印象に残りました。あと、セルフケアができる人。仕事の他に居場所がある人など。なるほどと思いました。

最後に、ピアスタッフになれる人はまずリカバリーしていなくてはならないと思います。自身のコンディションと相談しながらやっていくピアスタッフという仕事はとても貴重なものですね。

《竹内政治（さいたま市精神障がい者当事者会ウィーズ）》